

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課 秦野市教育委員会教育指導課		
所在地	神奈川県秦野市桜町1-3-2	運営形態	地域移行 ・その他(地域人材活用)運営型
運営主体	秦野市教育委員会(教育指導課)		
課題	<p>・主な活動場所である中学校には学校施設のセキュリティの関係上、現状として、地域部活動支援協力者のみで立ち入ることができない。</p> <p>・実際に地域部活動としての吹奏楽部の活動で使用している楽器の中には学校備品があるため、楽器が破損したときの責任や補償等についての明確な規定を設けるのが難しい。</p> <p>・指導者の人材確保や費用の負担等に加え、部活動に対する生徒及び保護者の期待や不安も大きく丁寧な説明が必要である。</p>		
事業目標	<p>子どもたちの文化活動への機会確保と教員の働き方改革の観点から、秦野市内の公立中学校の休日の文化部活動を段階的に地域移行していくことに向けて、地域から部活動指導員の人材確保や費用負担の在り方、文化芸術団体の調査等の課題に総合的に取り組むことで、より効果的で質の高い文化芸術活動の機会を確保できるようにする。</p>		
団体・組織等の連携			
拠点校等	秦野市立南中学校		

活動場所	音楽室
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から教職員ではない「部活動指導協力者」を指導者として活用していた秦野市立南中学校の吹奏楽部を、令和3年度から引き続き、地域部活動推進事業の実践研究に位置付けて取り組んだ。 ・事業開始当初は、休日の部活動に顧問教職員が参加しないことに不安を感じている生徒が多くいたため、これまでの学校部活動と同じように顧問教職員が休日の部活動に参加する形を取っていたが、事業が進むにつれて、休日に顧問教職員が部活動に従事しないような体制になってきた。 ・本事業での指導者を「地域部活動支援協力者」として実施要項等を作成し、南中学校吹奏楽部には教育指導課から7名(教職員3名・教職員以外4名)にその職を委嘱した。 ・今年度の地域部活動における活動時間は、文化庁の「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」や、本市の「秦野市部活動ガイドライン」を遵守した活動とした。※活動時間は3時間程度(準備片付けは含まない)。原則として週2日以上(休養日かつ土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上)を休養日とすること。 ・今年度の活動については、保険代等を受益者負担として事業を実施した。

○本事業による成果

- ・休日の活動を32日実施し、そのうち50%は兼職兼業した学校部活動顧問が1名以上従事しない日とした。さらに、25%は3名全員が従事しない環境を作ることができた。
- ・顧問教職員からは、「休日の学校部活動の負担が軽減した」「自分の時間が確保でき、自由な選択ができるようになった」「休日に休める環境づくりになっている」といった意見があった。
- ・秦野市の部活動検討委員会の委員からは、「文化活動については、スポーツ活動に比べて、地域移行が進まない傾向があるが、できる範囲で進めていくことは子どもたち・教員たちにとって素晴らしい取組」「教職員の働き方改革として、部活動を地域に移行していく取組はとても良い」「保護者もこれまで、文化・スポーツ活動を先生たちの善意に頼ってしまっていた。特に休日の学校部活動については、今後のあり方について検討が必要である」「学校部活動の教育的意義は継続してほしい」「特に専門ではない競技を教えている先生は本当に大変であり、先生方の中でも「今のままがベスト」と思っている人は少ないのではないか」という意見がある。
- ・休日の活動そのものに大きな変化はないので、生徒が負担を感じずに取り組んでいる。また「継続的に専門的な知識と技術を持っている指導者に教えてもらうことは嬉しい」という意見がある。
- ・学校が保護者へ説明会を実施した際、批判的な意見等はなかったため、おおむね肯定的に捉えられていると考えられる。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・平日の学校部活動では基礎・基本の練習を中心とし、休日の活動で全体練習等を行うことで、生徒の知識、技術向上を効率的に図っている。
- ・指導者(地域部活動支援協力者)が、技術指導以外にも「活動を通じての生徒同士のコミュニケーションの取り方」「楽器等のメンテナンスの知識・理解」等の指導を行っているため、生徒からも信頼を得ている。
- ・事業開始時に、秦野市教育委員会が指導者に対して「地域部活動指導ハンドブック」を用いて説明すると共に、定期的に活動の視察を行っている。

○運営上の工夫

- ・個人で購入できない打楽器をはじめ、大きく高額な楽器については、学校が所有する楽器を使用している。一方で、楽器の寄付等について、指導者とつながりのある団体等へお願いしている。
- ・活動場所が学校の音楽室であることから、セキュリティの関係上、兼職兼業をした顧問教員が鍵の管理をしているが、他の学校部活動が休日に活動している日には、他の部活動顧問に鍵の管理を協力してもらうこともある。
- ・指導者が継続的に同校の吹奏楽部を指導しているため、在学中に指導を受けた卒業生が知識・技能を有した新たな指導者として活用できている。
- ・学校部活動顧問が連絡調整役を担っているため、生徒や保護者、指導者等(教育委員会を含む)とスムーズに情報共有ができる。

○継続的な運営に関する課題

- ・活動にかかる保険料については、保護者会で理解が得られているが、年会費や月会費等の活動費(会費徴収)については保護者、学校等の理解が得られるよう今後も検討が必要である。
- ・活動場所については、様々な面から学校であることが望ましいが、セキュリティ面での課題が残っている。
- ・学校職員から「学校内で部活動をしたい人に合わせる体制ではなく、部活動をする・しないを選択できる環境にしていくことが大切である」という意見が出ており、休日の学校部活動を地域に移行して推進していく意見がある一方、「人材・費用負担・実施場所」への不安は未だに顕在している。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・来年度も同校で休日の学校部活動を地域の活動として取り組んでいく方針である。さらに、持続可能な活動となるよう、謝金単価や受益者負担等についても、生徒及び保護者、教職員、指導者と連携を密にしながら検討していく。
- ・同校の取組を好事例として、秦野市内の各学校に共有し、各校の実態に合わせ段階的に休日の学校部活動を地域移行していくことを目指していく。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	35名(中学生35名)
	募集方法	中学校の吹奏楽部に所属している生徒。また、地域の方が参加することもある。
指導者	人数等	地域部活動支援協力者(地域、卒業生、学校部活動顧問)7名
	募集方法	学校が人選。また地域部活動支援協力者からの紹介。
参加者の移動手段		なし。
活動費用	指導者謝金等	謝金 1,600円/時間
	その他	なし
活動財源	会費	なし
	その他	なし
スケジュール	基本活動	原則として土・日のどちらか1日を活動日として、1日3時間(準備・片付けをいれて4時間まで)として実施している。
	年間	年間52週として活動。
保険加入等		スポーツ安全保険(保護者負担800円/年、指導者個人負担800円/年)

【活動の様子（写真添付）】

